

技術体系

きゅうり(半促成/輝世紀)

作業名	作業内容	時期	投下資材及び使用設備(10a当り)
育苗	育苗ハウス、育苗床の準備、鉢床作成、播種、鉢上げ、接ぎ木、育苗管理	1月上～2月中	育苗ハウス：300㎡(うち育苗床面積80㎡) 電熱線：14本(3相200V、120m、500w) 温床資材：(杭、桤板、発泡板、真砂土、ラブリット、サーモスタット、サーモ等) 送電線10m、鉢土：1.5m ³ (原土1.4m ³ 、堆肥300kg、石灰質肥料2kg、磷酸肥料1kg、高度化成肥料2kg) ポリ鉢10.5cm 1,700個 種子・台木種子各1800粒 トンネル支柱180本 ビニール：0.075mm×3.3m×80m、被覆資材65m、接ぎ木クリップ9箱
ハウス被覆	ハウス外張り、二重カーテン被覆	1月上～1月中	外張りビニール 軽トラック
定植準備	耕起、整地、基肥施用、畦立て、灌水チューブ設置、マルチ被覆、支柱準備	1月中～2月上	堆肥3,000kg 運搬車 石灰質肥料120kg トラクター 高度化成肥料140kg 油粕100kg 灌水チューブ：600m 透明マルチ：0.03mm×2.1m×600m 支柱：イボ竹φ20mm、450本
定植	畦幅140cm、株間45cm、1条植え	2月中	運搬車、灌水ポンプ
支柱立て	支柱組み立て	2月下	支柱用パイプ(19mm×5.5m)：340本
ハウス管理(保温・換気等)	ハウス、カーテン開閉	2月上	暖房機
灌水・追肥	液肥の500～1,000倍液を生育に応じて適宜灌水施用	2月下～6月下	液肥(10-4-8)200L 液肥混入器 灌水ポンプ
誘引・整枝・摘葉	誘引、整枝、摘心、摘葉	2月下～6月下	誘引ひも10巻
病虫害防除	農薬調合、散布	2月中～6月下	動力噴霧機、くん煙剤
収穫・調製・出荷	収穫、調製、選別、箱詰め、出荷(調製～出荷は選果場で処理) 出荷量：12,000kg	3月中～6月下	収穫車、コンテナ、軽トラック 5kgダンボール箱2,400個
後片付け	残さ持ち出し、耕耘	7月上～中	運搬車 軽トラック トラクター

技術体系

トマト(抑制/CFハウス桃太郎等)

作業名	作業内容	時期	投下資材及び使用設備(10a当り)
育苗	播種床、移植床、播種、接ぎ木、鉢上げ、育苗管理	5月上～7月下	育苗ハウス270㎡(播種床6㎡、移植床90㎡) 鉢土約1500リットル、セルトレイ(72穴)32枚、(128穴)18枚 ポリ鉢(10.5cm)2,100鉢 種子：台木、穂木各2,200粒 接ぎ木：スパークス [®] 2,200個 トンネル支柱 80本 育苗遮光資材 2.8m×40m
ハウス被覆	ハウス、二重カーテン(前作利用)	7月上～7月中	寒冷紗100m 防虫ネット使用
定植準備	耕起、整地、基肥施用、畦立て、灌水チューブ設置、マルチ被覆、支柱立て	6月上～7月中	堆肥3000kg 石灰質肥料100kg 磷酸肥料40kg 高度化成肥料50kg 灌水チューブ 400m 地温抑制マルチ 400m マルチ押さえ 700本 支柱 イボ竹 φ20mm 400本 コードクリップφ20mm 400本
定植	畦幅240cm 株間40cm 2条植(2,000本/10a)	7月下	運搬車 コンテナ
保温・換気		9月下～12月上	
灌水・追肥	化成肥料と液肥の500～1,000倍を生育に応じて適宜施用	7月上～11月中	液肥(10-4-8)、化成肥料 灌水ポンプ、液肥混入器
栽培管理	誘引、整枝、交配、摘果、摘心	7月下～12月上	誘引ヒモ2巻 誘引テープ 8巻 交配：マルハナバチ 3群
防除	栽培管理を徹底し、耕種的防除に努める。病虫害の発生に応じて薬剤防除を行う。	8月上～11月下	殺虫剤 殺菌剤
収穫・調製・出荷 後片付け	出荷量 6,000kg 被覆ビニル除去も含む	9月上～12月中 12月下	収穫車、コンテナ、軽トラック 運搬車